京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太

印刷人　松久神一郎

京城西署西小門通(電話六六三)

發行所　京城新報社

雜録

漢京より　北韓山生

▲元山每日新聞主催の京元鐵道沿線視察團は一行三十名既に元山を出發し二十八日京城に着する由、吾輩は元山居留民の此擧に依て禁じ難き快感を催し候、

▲今春元山居留民團が横貫鐵道急設の必要を絶叫するや、吾京城居留民も同時に起つて唱和したり、而して運は幸ひにも我政府の所見と一致し、議會も亦此の提案を可決し、當局者は既に線路の測量に從事中、來十月工事を起す豫定なりと聞及候、

▲抑も横貫鐵道急設の必要を唱ふるに方りてや、邦人の之れに對する抱懷は其根本に於ては相違する處なからんも其の地方的利害に至りては大小輕重の自覺ありしは申す迄も無きこと也、而して其最も切實に急設を感じたるは元山居留民なりし也、

▲去れば元山居留民が其の所願を貫徹したるを欣ぶの意は、蓋し他の地方に於ける居留民に比して逈かに勝るものありしならんと存ぜられ候、

▲於此、鐵道竣成の曉、最善の方法を以て之れを利用せんとする準備の爲めにや稍危險なりとせらるゝにも拘はらず沿線を跋渉して視察を遂げんとす、吾等は單に其の熱心なる努力を多とするのみならず、横貫鐵道に對して最も緊切なる關係を生ずべき元山の人士と共に其の急設の決定に奔走盡力したる比較的關係薄き他地方の人士に對する社會的禮儀として尊重すべき行動なりと信じ候、

▲故に吾等は此の禮儀を重せる賓客の入京に際しては心の限り優遇款待して以て社會的禮讓の意を發揮したきものに御座候、

▲京城日報主筆法學士原田豐次郎氏は今回同社を辭せし由、氏は正直なる紳士として同人間に敬愛され、學問の蘊蓄深く殊に能文の聞へある人なるに、今退社の報に接す、吾等は京城言論界の爲めに之れを惜しみ候、

▲東洋拓殖會社は近く、移民規則を發表するやに御座候、規則の發表と其の實行は別事にして、而かも移民の利益は必ずしも會社の利益と一致するものにあらず、吾等は同社の深き注意と十分の準備とを以て、規則の發表が徒に了るは尚且可、我農民を欺ふなからんことを希望するもの也

雜録

鯨屋伊右衛門翁の鯨談（十）

(四三)鯨筋の料理　は砂糖の樣な甘味の汁物に混じ、煮方軟らかに實に結構な食品である、此筋の製法は丸筋丈を採つて庖丁で肉を割き之を拔取り筋の外膜を剝ぎ取つて三尺計りに切り清水にて洗ひ、時々水を取換へ、二三日の間能く晒し、鹽氣を拔き日乾にすれば白色に爲る之が上等品である。

(四四)鯨骨の各名稱　日本では骨の種類に種々の名を命けて居る頭骨をカバチ、其次にあるのをレンギ骨、其次にある一節をスリバチ骨、其次の五節を提燈骨、其次の十四節をアテ骨、其次の十一節を大骨、其次の十三節を丸切骨、其次の十三節を握り筒路骨、下腮の骨二つを嘴骨、咽輪の口の次にあつて長三尺計り一尺程横に付て居るものを胸骨、胸の上にあるのを鑑骨、耳の底に左右二つあるを耳骨、左右の胸に並んだものを肋骨、肋骨の下兩方に二本あるのを針骨、丸切骨の上下に附き十二本あるを鞍骨、鰭の要骨の次に左右二つあるをカセ骨、陰門の兩方に二本あるを輪骨、陰門の上の方、肉身の内に茶碗位の大きさの二つのものを蛤骨と名づけ、合せて十八通りに爲てゐる

(四五)昔の鯨の解剖法　一体で鯨の解剖は昔から一定の作法があつて、解剖する人を羽刺と呼び、國々で多少の作法が違ふ、私の故郷に近い唐津では一番に脊の皮、二番背の赤肉、三番に左右の腮腹、四番に大骨、五番に山の皮即ち頭の皮、六番に棚即ち下の唇、七番に頭、八番舌と鬚、九番丸切り、十番に肋骨、十一番に敷の皮即ち腹下の畝皮の處、十二番に開の元即ち陰所、十三番丸切の内尾羽毛、三合と云ふ順序に漸々開剖して行くのである、今では日本の捕鯨の方法も諸威式になり、解剖も解剖船などで遣るから、大分作法も亂れて來たようだ。

(四六)諸威式捕鯨銛　は此の捕鯨法の特色であるが、是は明治二十七年頃八十歲で死去した諸威人フヲインの發明したもので、財產は六七百萬圓も遺したそうである、此銛は鯨の體内に射込んで鯨の暴れる爲めに有繫大きな鐵身もグニャ〳〵になるのだからポキリと折れる樣な脆い鐵ではいけぬ、諸威では瑞典から產出する特種の鐵で製造するが日本では山陰道の某鑛山から出る鐵の外は此の銛を製造するに適當なものが出ないそうで、捕鯨會社は皆諸威から輸入して使つて居る、然し一度限りの使用でない打直が出來る、又銛先の破烈矢(鑄物)は當東洋漁業會社で砲兵工廠に賴んで製造してから、日本で出來る樣になつた。

(四七)諸威式捕鯨砲手と收入　砲手は現在では夏目市太郎と云ふ男が三十三年頃から諸威式の捕鯨船に乘つて、實地練習を遣つてゐるから、日本人砲手第一の故參者であるが、未だ未だ八九分通りは諸威人で占めてゐる、此內でも當長崎捕鯨會社から今の東洋捕鯨會社に引繼だメルソンと云ふのが、東洋方面の鯨獵界第一の故參者である、諸威では砲手の月給は六十圓位のもので露人が朝鮮海で獨舞臺の時、砲手が百圓位の月給であつた、尤も捕鯨船には月給の外に鯨一頭に砲手が四十圓、機關士十圓、水火夫三圓と云ふ割合の賞與があつた、脊美鯨は又例外で、諸威など現に此鯨の時は砲手に三百クラウン即ち百五十圓以上で露人も二百圓位の賞與を遣つてゐた、近來日本では捕鯨會社が多く出來た結果、捕鯨船が多く爲り勢ひ競爭する傾きがあつて砲手の賞與金月給までも、從前よりは額が增して砲手の賞與は普通の鯨で一頭六十圓以上月給でも二百五十圓位遣つてゐる會社があるそうだから賞與と合せたら一萬圓以上即ち國務大臣以上の收入に當るものもあるが、現今我邦の普通は月給百五十圓以上二百圓以下食料四十圓以下、頭別歩合金三十五圓以上五十圓以下である、又諸威ではラ、クッケン。エ、ソーレンセン。アイエルセン。此三人が名砲手と呼ばれてゐる。

文苑

▲春畝公詩存拔萃

廿一年九月自元山至浦潮斯德作

韓嶺迤邐聳嶔横。滿天秋色海雲晴。一條鐵路工將起。八箇砲臺築半成。割地講和既非計。交兵決戰豈爭衡。東方從是應多事。坐看洪濤拍岸生。

俳句

●夏五句●　多田千春

糊のたつ浴衣凜々しき男かな

六月や蛸つぼ上げる須磨の朝

飯粒を蟹の引つ込む清水かな

川狩りや鳥羽繪の樣な身拵へ

子を持つて猫も夏瘦したりけり



◎新刊紹介

▲サンデー(七十八號)「名士平凡人平」は面白く「クレテー島問題」は有益なり(東京京橋彌左衛門町週報社十錢)

▲法政新聞(十五號)依例記事豐富(京城廣川町五同社一ヶ月二十五錢)

▲東京經濟雜誌(千五百四十七號)六月十八日發行(東京京橋區彌左門町七同社十二錢)

▲特許局公報(十九號五月一日發行統監府特許局)

▲政友(百十八號)論說他政黨の報告を讀むは讀む者の心をも讀ましむるべく用意十分なり「學制改革問題」其他讀むべき記事多し(五月二十五日發行東京芝公園政友會會報十五錢)

講談

大岡政談　越後傳吉　第五回　旭堂南陵講演

傳「れ母さんがいひなすつたには妾が死んだ跡はどうか姉さんの身體をば大切にして與れいふて御座つてのう、私アれ前樣をば實際のれ母樣だと思ひまして孝行をいたします、寶田村へ歸つて御座つたらどうでございませう、今は田地もございましねが、ナー二朝から早う夜は遲う一生懸命に稼ぎやア、何のれ前樣三人ぐらゐ何とでもして行きませう、此所に御座つては孝行が出來ない、村へ來て貰へは充分に孝行が出來ますから」はや「ア、傳吉どん、よく親切にいつてれくれた、實のところは斯うやつて一年は瘦辛抱を張つて來たものゝ、もう張切れない世帶どうしやうか知らぬと思つてるところだから、それぢやア傳吉どん、今更村へ歸るのも鐵面皮いやうだが、れ前さんの言葉に絆されて連れて行つて貰ひませうか」傳「さうかのう、來て下さりやア私も一ア結構だ、思ふ存分に孝行が出來ますから、ア、有難てね、それぢやア斯うしますだ伯母樣私アこれから江戸まで御用があつて行きますで、江戸の用を終ふて戻りに寄りますから、それまでに家の始末を着けて置いて下せね、ナー二氣樂も遠慮も要るもんでねへ、母なき後は伯母樣のれ前樣だもの又れ梅どんだつて私たア從兄妹同志だ、なんといつても親は泣寄でござりますだ」れはや「誠にどうも有難う、それぢやアさういふことにして下さい」不思議の對面話しが纏り、傳吉はいう〳〵として翌朝出立いたし江戸表へ納めるところの金を納め、それから江戸を立て歸り途鴻の巢へ寄ると、チャンと母子二人は支度が出來て居る、漸く連れて戻りました寶田村、甚右衛門三右衛門の二人に話しをいたし、名主の庄左衛門にも話しまして、三名同居することになつた、イヤすると村の若い奴は口が惡い　甲「オイ乙」乙「エ、」甲「井上の小旦那ア詰らねへ者を引張つて歸つて御座つたのう、それあの鶏端の肥桶といつたれはやだ」乙「違へねへだ、婆になつてるだい三兒の魂百までといつてな若へマア時分に淫亂だつたから淫亂娘と淫亂婆だい」甲「あんな者引張て來んでも良いところから嫁が來だから嫁を貰つて結構に暮しなさりやア宜いのに、わざ〳〵あんな者を引張つて御座つたのう、何事か出來なきやア宜いが」村の者が蔭で話しをして居る、傳吉は二人をば大切にいたしまして朝は暗い中から夜は遲くまで一生懸命に働いて居る、傳吉にこの働きをさせるから二人も共に野良仕事の手傳ひでもするかといふとさうぢやアない、賭博打と夫婦となつて身を持崩して居るれはや、その間へ出來ましたれ梅だから教育が惡い、百姓なざア何で出來べきやうがない母子二人とも傳吉が仕事に行つて不在の間はコロ〳〵と寢轉んでる、傳吉が戻つてくれはれはやが口先でばかり旨いことをいふ、何といはれても正直一偏の傳吉だから只働いて大切にするといふだけのことだ、甚右衛門三右衛門の二人が　甚「どうたい三右衛門」三「ア、」甚「乃公ア考へたが、あゝやつて小旦那精々と稼いで御座つて、れはやとれ梅の二人が何にもしねへで遊んでるだ、ちつとして居りやア乃公ア氣樂だらうと思ふだがれ梅といふ女つちよめ色も白いし誠に良い女御だ從兄妹夫婦といふのはある倣ひだからあの中に嫁を貰ふといつても小旦那の嫁に來ねへだ、あんなれはやさんがあつちやア嫁が來ねへだらうから小旦那と從兄妹夫婦、伯母親といつて皆内輪で濟んでしまふて、誠に穩かに治まるだらうと思ふがどうだらう」三「こりやア良い事をいつたのう、れはやに相談して見やうか」甚「良からう」と早速れはや婆さんにこの話しをしますとこれは嫁とはいへない、己れは何にもしないで傳吉に世話る身體です、殊に傳吉が快う孝行して居る折柄、この話しを持らア、結構でございますと云をするより外は仕方がない。

東京電報

▲統監に御陪食

我陛下には來る廿五日各皇族を召され正副統監を始め統監府員に御陪食を仰付けらるゝ由(廿三日)

▲地方改良事業

內務省主催第三回地方改良事業講習會は豫定の如く明日より七月五日迄文部省修文館に於て開催の筈にて本日午前九時開講式を擧行せり講習員は地方事務官補七名技師一名支廳長一名郡長四十七名警視三名郡書記三十二名郡視學二名にて床次局長は開會の辭を述べ平田內相は一場の訓示をなし井上參事官又一場の演說を試み十時全く式を終れり

▲新財源と海軍

來年度新財源四千萬圓を得る見込なるが對韓經營費を增加し鎭海灣防備費、水港灣調整費等の幾分を海軍擴張費に…

▲攝政王御退京

獨逸聯邦のメクレンブルグ公國攝政王アルブレヒト同妃兩殿下には明二十五日午前十時新橋發特別列車にて神戸に御旅行の筈なり(廿四日)

▲保險契約停止

內國生命保險會社は資本金十萬圓にして早川鐵治氏社長として現在保險契約高千五百萬圓に達したるも主務省は同社に對し保險契約締結停止を傳達したり(同上)

伯林電報

▲獨皇帝御全癒

獨逸皇帝は御全癒水曜日ハンブルクに向はせられ豫定の如くハンブルク亞米利加汽船會社長の朝餐會に臨ませられ而して同地より更にキール軍港に向はせられ同地にて催さるゝ諸種の祝典に列せらる(廿四日)

▲大浦農相消息

日本國農商務大臣大浦男は二十二日伯林商業會議所及取引所を參觀せり(同上)

▲キーター洪水

西比利亞鐵道線に沿へるキーターは洪水の爲め大半浸水せり(廿四日)

▲鐵道列車の衝突

佛國マルセーユ附近ビールブイルに於て二個の鐵道列車衝突し双方共火災を起し乘客は或は燒かれ或は負傷し只今迄に十名の屍體を收容せり諸新聞は死者十九名負傷者八十名と稱せり(同上)

▲露國の虎病流行

南部露西亞に於ける虎列剌病は益々猖獗を極め四方に蔓延しローストー市に於ては患者七百八名に達し死人九十四名を出しレットウ附近にては患者七十七名の多數に上り死人卅九人也(同上)

紐育電報

▲ルーズベルト氏演說裏面

前大統領ルーズベルト氏は紐育市長歡迎の辭に答へて予は各種の公務的問題の解決に助力せんとする念切なりと言明せし此の言は氏が再び公的生活に入り奮然活動するの意あるを示せるものなりと一般に認識せり(廿四日)

統監出發の準備

既報の如く寺內統監は愈よ來月上旬關城に赴任することに決し同令息、同令孃等皆同伴の由にて目下準備中なり寺內子が第三世統監として任務結了を告ぐるまで任地を去らざる意向の由にて陸軍大臣としての指揮は總て京城より出る由なれば之に就ては豫じめ適當の方法を講ぜらるべしと

臨時閣議と特使

重要問題に關し二十三日(宮中)臨時閣議を開けり…なるが今其模樣を漏れ聞くに…る程に步調の一致を…に進行せり而して其結果を…總理の許に通知する事…官を特使として同夜急…しが韓皇には皇后と…中にて拜謁の機を得ざ…御待取け委曲奏上せり

秘園の上覽相撲

二十四日宮內府秘園に於て催されたる上覽大相撲は折柄の天氣好晴なりしより陪觀の案內を受けたる人々は孰れも參園し韓國各皇族大久保軍司令官榊原明石、石井の各少將を始め各大臣日韓文武官等無慮八百餘名さ注せられ頗る盛會を極めたり土俵は暎華堂前の廣場に設らへられ休息所の設けありて取組の合間每に來賓を玆に招待し茶菓を饗して接待せり韓皇には午後二時尹侍從院卿の陪乘にて御馬車を驅らせられ御機嫌麗はしく設けの御座所に着かせられ偉大の體格と取組の壯烈を樹はれて時々御滿悅の笑を湛ゐらるゝを拜せり尙ほ取組は全部六十九番の豫定なりしが打出し時間遲かりし爲め悉く之を演ずる能はず午後六時三十分終了したり

●憲兵隊長以下新任

廿一日付左の通り新補せられたり

陸軍憲兵中佐 隈部親信
陸軍憲兵中佐 杉村勇次郎
陸軍憲兵少佐 塩澤義夫
陸軍憲兵少佐 吉弘庚
陸軍憲兵少佐 服部米次郎
陸軍憲兵少佐 前田昇
補韓國駐劄憲兵分隊長(各通)
臺灣憲兵隊分隊長 憲兵大尉 齋藤七郎
姫路憲兵隊分隊長 同 細井愛親
久留米 同 同 井上元成
廣島 同 同 奥村惠
弘前 同 同 平野忠藏
大阪 同 同 松原仲太
臺灣憲兵隊副官 憲兵大尉 林茂樹
京都憲兵隊分隊長 憲兵中尉 三浦佚哉
姫路憲兵隊副官 憲兵中尉 高田稔
旭川 同 同 土屋菊太郎
廣島 同 同 池田三吉
宇都宮憲兵分隊長 憲兵中尉 宮本賢祥
旭川 同 同 德永五郎
大阪 同 同 横田秀藏
大阪 同 同 宮川宇三郎
善通寺 同 同 太田藤太郎
岡山 同 同 川島友市
小倉 同 同 古谷堅城
善通寺 同 同 米村乙男
金澤 同 同 松林宇吉
久留米 同 同 川原顯悟
弘前 同 同 齋藤安二
東京 同 同 三浦惠一
仙臺 同 同 脇野義雄
高田 同 同 須田照一
豐橋 同 同 田村平二郎
免本職補韓國駐劄憲兵隊分隊長(各通)

●三年度の歲入成績

隆熙三年度歲入事務は五月三十一日を以て其出納を閉鎖せしが最近に知り得たる所に依り主要なる歲入科目の徵收額を揭ぐれば左の如し

地税	六、四一四、八一〇圓
戶税	六七四、一一四
家屋税	一一九、六九八
酒税	一九五、八五二
煙草税	一九八、二〇四
驛屯賭收入	一、二五六、三七四

即ち地税は豫算額よりも十九萬五千餘圓戶税は同じく八萬九千餘圓を增收せり新三税は施行初年に實し確實に收入豫算を立つること困難なりし爲め家屋税煙草税は豫算に達するを得ざりしと雖も酒税は却て三萬二千餘圓を增收するを得又驛屯賭收入は豫算に對して多少の不足を生ぜしも畢竟穀價の格安なりし一方に東洋拓殖株式會社に出資又は賃貸したる土地に對する減收ありし等に基くものにして然も之を前年度收入總額七十万五百圓に比すれば四十五萬五千圓を增し實に六割四分の增加步合を示せり之を要するに三年度歲入は大體に於て良好の成績を收め歲入出現計に於て結局三十餘萬圓の歲入超過を見に至り韓國財政上の一大進步也と

●土地調査と大藏省

韓國土地調査局は開設以來既に三箇月餘を經過するも未だ之に關する土地調査法及附屬法の發布なかりし爲め豫定計劃を進むる能はず唯だ多數吏員を空しく遊過せしむるの不利益なるより試驗的に着手せる位の現狀なり而して該法案は目下內部及農商工部に廻付し意見を徵し居るも各々多少の意見あれば決定までには尙は多少の時日を要すべし尙は一方該土地調査に就ては韓國の將來に關するを以て吾が大藏省との交涉を遂げ日本制度との統一を計り置くの必要あり故に佐々木部長東上し目下同省の意見を求めつゝありといふ

●不良韓人と清官憲

間島は不良韓人の巢窟にして李範允等の一派は玆に潛み種々忍辣なる陰謀を運らし居るが吾が官憲は協定居留地以外は一歩も踏み込む能はず已むを得ず清國官憲に知照して其取締を煩はすの外策なき弱點に在り而して清國官憲の吾が知照に對する態度如何を聞くに必ずしも故意的ならざるも兎角例の緩慢悠長を極め殆んど申譯的に取締を爲すのみなれば事々物々隔靴搔痒の感に堪へざる由

●新裁判と地方民心

統監府裁判所開始以來一般地方民の之に對する意向は極めて圓滿に行はれ施行の當初こそ手續に兎角面倒を要せる爲め其煩を厭ふの傾向ありしが裁判の公正と敏捷とは往時の比にあらざるを悟れる結果倍々信賴の念を深ふするに到れり若し各新政中最も歡迎せらるゝものを指顧すれば恐らく司法事務なるべしと此頃南韓各地の視察を了へて歸來せる松寺司法廳參事官は語れり

社告

豫告の通り統監更迭紀念號は二十五日を以て發刊することゝなし既に準備整ひ居るも統監の來任は吾人の最初豫期せしよりも遲延したれば來月上旬統監の着任を俟て直に發行することゝなしなり右社告す

編輯局

●耶蘇學校の卒業式

平北鐵山郡邑內の耶蘇敎學校にては去十八日第二回卒業式を擧行したるが來賓には郡守以下男三十二名女四十二名ありて校長張寬善は大要左の意味の講演を爲したり

一、正道を遵養する事
一、奮發勉勵して富國を謀る事
一、耶蘇を忘れざること
一、時運は耶蘇に伴ふ事
一、耶蘇を信仰すれば韓國の獨立は遠からざる事

●支那密漁船と葉錢

木浦警察署にては先日淸國葉錢密輸入取締ありて洛同島沖合に警備船を派遣したるに三隻の淸國密漁船を發見し訓戒を與へて退却を命じ夫れより下洛同島沿岸に碇泊中の海産物を滿載せる淸國帆船に臨檢したるに葉錢五十六貫文を發見し本月十七日船長張蘭亭及葉錢を木浦理事廳に送致したりと

●又々僞造銀貨發見

黃海道金川郡北面々長朴根春の徵收したる公金中に僞造韓國貳拾錢銀貨一枚を發見せり過日も同種の五拾錢銀貨發見せし事とて目下嚴重に取調中なりと

●各部事務概要調査

韓政府各部は新正副統監に提示の爲め保護政治開始以來の事務成績調査を遂げ之を編纂中なり

●伊東祐侃氏移轉

伊東祐侃氏は龍山老松町民團役所前(元上村警察署長住宅)へ二十四日移轉したりと云ふ

●菊地院長の移轉

菊地大韓醫院長は旭町一丁目伊東祐侃氏跡へ移轉せり

●辭令

左の通り辭令ありたり

正四位勳二等 石塚英藏
日本大博覽會評議員被免
正五位勳四等 有吉忠一
日本大博覽會評議員被仰付
韓國駐劄軍參謀 陸軍步兵大尉 植木喜久治
免本職參謀本部附被仰付

新對韓策と鐵道

遠からず實行せられんとする對韓策に要すべき費用は一千萬圓前後の概算なりとのことなるが新對韓策確立後は韓國鐵道は再び鐵道院の管轄を離れて在韓國最高官衙(今の統監府の如き)の直轄に歸すべく而して在韓國最高官衙は韓國の一般收入と鐵道及び通信管理局の收入とを併せて韓國財政の基礎金とし日本よりは一定の補助金を得て特別會計制度を設定し以て韓國財政の獨立を計ることとなるべしとの說あり

拓殖局の官制要點

勅令第二百七十九號を以て發布されたる拓殖局官制の要點は左の如し

一、拓殖局は內閣總理大臣に隷し臺灣樺太及韓國に關する事項を統理す前項の外拓殖局に於て外交に關する事項を除くの外關東州に關する事務を統理す
二、拓殖局に左の職員を置く
總裁、副總裁各一人、部長二人、書記官專任四人、秘書官專任一人、翻譯官專任二人、屬通譯官專任二十八人
三、拓植局に總裁官房の外左の二部を置く
第一部、第二部

京龍民團合併公表

京城及び龍山の兩民團は愈々七月五日より合併する旨統監府公報を以て發表されたり

●旭公園の引繼問題

旭公園引繼問題に關する京城居留民會は委員附托となり其結果二十四日午後七時より本會を開きし筈なるが今其經過を聞くに該引繼に伴ふ報償金額は千八百圓にして之が財源は現南山小學校建物を放賣して供すべき計劃にて民團理事者は坪十圓即ち總建坪百九十坪を千九百圓に豫算せるが該家屋は十數年前建築に係り到底斯かる價値なきより中島議員は極力其豫算の失當杜撰を責め遂に賣却に付す丈けを決議し價格は理事者に信賴して適宜處分せしむる事となり而して其不足額は豫備費より支出し更に設備を完全ならしむる爲め約千圓を支出する筈なりといふ

●京龍民團合併內容

別項の如く京龍兩民團合併は愈發表されたるが其內容は協和會に於ける決議と殆んど同一にして龍山民團の權利義務は現在の儘京城民團に引繼ぎ從つて居留民一般の義務も同樣現在のまゝ京城に移さるべし尙ほ一面議員の資格は現在のまゝ十月七日京城議員改選期迄存續せらるべし其他役場吏員は民長會計役を除くの外異動を見ず而して合併事務實行は十月初旬を以て行はるべし

●東拓出張所長會議

去る二十二日より開催したる東拓會社の出張所長會議は二十三日附を以て終了したるが協議せし事項左の如し

一、小作料に關する件
二、俵裝改良方法に關する件
三、小作物保管方法に關する件
四、買收地々押調査に關する件
五、小作人保護獎勵に關する件
六、植樹獎勵に關する件
七、植林適地調査に關する件
八、水源涵養燃料供給の爲造林經營に關する件
九、私有山林に關する件
十、貸付金に關する件
十一、移住規則に關する件
十二、小作物保管倉庫に關する件

●釜山港の牛皮相場

釜山に於ける牛皮の集散期は三、四、五、十、十一、十二月等にして其價格は一定不動なりと雖も概して集散頻繁なる時季に於ては從つて騰貴する者の如し而して韓人との取引賣買は量目の差異あるが故に自然高價を以て買取り居る模樣なり次ぎに牛皮の大小に依り價格の差異あること兩三年前迄では之れを認めたるも近來は差したる變動を見ず只赤毛皮は稍高價を以て取引されつゝ有

●會議所の決算報告

二十三日の本會議に附したる京城日本人商業會議所四十二年度決算報告は役員會を通過したる原案の通り可決せり其の內容を聞知するに同年度總收入は六千二百十四圓六十六錢五厘にして總支出六千百三十七圓六錢差引殘高七十七圓六十錢五厘は本年度に繰入れたり

●水野參事官の到着

水野內務省參事官は中野警視及田中事務官の迎導にて京義沿線の要地を視察し二十四日午後七時南大門驛着入京したり而して當地滯在は約四日間の豫定にして此間統監府を始め各部の視察を爲し尙は參內謁見敬意を表する筈なり

●仁川商會議員補欠

仁川商業會議所第二級議員當選者なる萬玉岩吉氏は家事上の都合にて辭退せられしを以て次點者なる美濃谷榮次郎氏を推薦したるに氏亦た固辭せられしを以て其亦次々點者なる加藤藤太郎氏當選せらるべしとなり

●會議所議員選擧期

京城日本人商業會議所議員半數改選期は愈々六月三十日と決定し同會議所に於て施行すべく投票時間は二級午前八時より正午十二時まで一級午後二時より午後四時までにして選擧投票用紙は當日選擧會場に於て交附する由

●光濟號の下關行き

山縣副統監は二十七日東京出發赴任の途に上るに付き目下釜山港に碇泊中の光濟號は二十九日下の關に入港すべき命を受けたるが同港より仁川に直航することは既報の通りなり

●ロスチャイルド氏

世界第一の富豪ロスチャイルド男爵の一家エー、デ、ロスチャイルド氏及びスミス、ヴイストの兩氏は目下ソンタクホテル滯在中なるが二十五日內地へ向け出發すべしと云ふ

●奧村五百子建碑式

仁川東本願寺別院境內に建設せし故奧村五百子記念碑建碑式は愈々二十六日午後一時より愛國婦人會仁川委員部主催の下に執行せらるゝ筈なるが同奧村令孃參列せらるべしと云ふ

●京城日報解停さる

去る十九日より發行停止を命ぜられたる京城日報は二十四日解停せられたり

龍山通信 (廿三日 支局報)

▲民長の訓示演說 本紙に『有夫の敎員有婦の敎員と通ず』なる記事を揭げたる翌日の事なりとか龍山民長は小學校に到り敎員一同を集めて左の意味の訓示演說を爲せりと 斯かる事件の發生を事實なりとすれば實に心外千萬なり而して斯る事件の外間に洩されたるは更に心外千萬なり或曰ふ道は職員中校長に對して惡感を懷ける者の所爲なりと果して然らば彼は天に向て唾するの愚を學ぶものなり云々 讀者は叙上の演說中學校の職員たる者は臭い物にも蓋をせよてふ意義を看取し能はざる乎

▲龍山民長の今後 別項記載の如く京龍合併は愈確定發表されたり合併後の京城民長は例の『山と河間の秘め事』にて其精力の絕倫なるを證據立てたる古城現京城民長の居据りとなるべし然れば現龍山民長大久保到氏の今後に就ては居留民の等しく頭痛に病む處なるが氏は多分內部に奉職するならんとの說あり之れは合併問題の發生前氏が今春橫貫鐵道期成同盟會の委員として東上せし時氏は既に民長の位置を拋つの意あり如才なく運動內定し居たるなりとの下馬評もあり

▲經濟協會の滿足 京龍合併は兩地居留民の最大多數が等しく是認せる處にして最初龍山經濟協會が合併の必要を提唱するや市民之れに和し官憲之れを容れて所謂急轉直下の勢を以て確實發表されたるに徵すれば合併の機も亦既に熟し居たるものと見るを得べきも同協會は其の初めて提唱したる問題を遂行したるに於て太だ滿足を感じ同時に讀者の應援に對して深く感謝し居りと

●澤田乙三氏入京 黃海道書記官の同氏は二十三日入京不知火旅館に投宿

●兒玉中尉の出發 入京中なりし兒玉中尉は二十三日出發釜山に向ひたり

●海部嚴氏の入京 報知新聞釜山特派員の同氏は廿三日入京不知火に投宿

▲治外法權▼

山縣の乘込も愈間近になつた、先生二十五貫目の體を以て百官諸僚を從へ馬關から光濟號で來るソウだが、あまり貫々が多いので光濟が沈みはしないか▲山縣が光濟なら寺內は何れ軍艦ダロウ、ザテ軍艦や光濟で虛榮的旅行をやるのは伊藤や曾禰の創めた陋習だ、此陋習に新統監や副統監がカブレるのは可笑い▲今や新橋と南大門間には鐵道と連絡船とで天下の公道があるではないか、此公道を無視して態々別仕立船で來るとは氣マグレの沙汰ではないか▲ツイ此間の事と思つてたら怪傑星が伊藤にやられてから今年が丁度十年目だ、ソレで過日は舊友門下が池上に集つて十周忌の法事をやつた、嗚呼怪傑星亭、十年經過ても彼れの後繼者は出ぬか▲ロードクロマアと云へば埃及の保護政治で大層成効したように言ふが實際は左程でないのである、彼れの埃及に於ける物質的施設は多少見るべきものがあるが人心の感化に就いては殆んどゼロに了つたのである▲彼れクロマアは人心の感化を怠つた爲埃及には國民主義が起つて該主義者の爲彼自身は隱退を强ひられ、英國の勢力は削減さるゝに到つたのである▲猶太人の身を以て英國の貴族に列し世界最大の金權者として我國債の大部分を引受けてるロスチャイルドの一家エー、デ、ロスチャイルドの一行が目下來京中だ、一行某に語つて曰く半島の汽車は廣軌でまことに良い、併し驛から南大門へ來るに街路が狹い爲に命掛けだ、東洋の旅行が命掛けと云ふ事は豫て聞いて居たが來て見て成程と解し得たと。

我輩は甜瓜である

▽眞實な甜瓜の告白 ▽何様か其美味いか

無く勿れだ、我輩は甜瓜である。京城の夏を荷負つて立つ我輩の身の上話しも此の時此際强ち不用でもあるまい。現に角田舍に育つた不格好――然し我輩自身でさへも如何に自惚れて見ても不格好であると生れながら下は擔夫軍より上は大官貴族方貴婦人令嬢に至る迄賞翫して貰ふのは我輩の大に光榮とする所である。アラ！貴方は甜瓜を召し食るの？嘩ア！止しなさいよう、朝鮮人の如かで笑はれてよ、なんかと何くれ事が如何と云ふ方もあるが、雪の皆無い朝鮮に於て油臭い女中が那麼な手付で食つた口は其事がない、一度口に御持ちになつて出し遊ばすもいが、因果な身の上、眞正に此れが爲んぞ知らんやである。

「アラ……アレは芥子だワ、白胡麻だワ、妾し厭アよ」

と、仰云るか知らないが夫れは駄目である、現在食はれる我輩が爆し紛れに自白するのだもの、ト此調子に乗つて餘計な饒舌をしたもので、迚も油断がならないと此處で謹戒されて一大事、何うか此の場限りで秘密に容て置いて頂きたい。

我輩の味を知て賞玩して下さるのは日本人であつて、深く御礼致します。我朝鮮人に至つては味が爲めに食ふのでなく空腹を充さんが爲めに食ふのであるから其の食方の頗る猛烈と極めて、賞翫者人の文句では無いと云ふ「嘘れや腸も未だ」と、況んやキナ臭い息を吹き掛け油臭くて頰り附けつゝポリ〜行く擔夫軍食ひに至つては我輩も一度の目に遭はぬでもないが、我輩は日本人の需用に應せんとして京城新報紙上に之れを告白する次第である。

らぬのでツク〜〜浮世が厭になるが其の辛抱が仕方がないから白粉や香水の匂ひを夫れ丈け取つて頂けることと夫れを樂しみに我慢をするのであるが運が惡い前記の擔夫軍食に出るとあるで、我同族間でも少し格圓形で而も太い瓜を召す者が善い、その方が本年も相變らず御贔負を願ふのである。

大相撲一行乘込

▽未曾有の人出と壯觀

東京大相撲百八十四名は愈々昨夜當地に乗込みしが居留民一行勇姿を見んとする者續々と停車場に詰寄せ構内構外は人を以て埋められ、キリンビール日本ビール兩社は旗を翻へし樂隊を引連れ提灯を携さへ花々しく出迎へ警察署よりは特に警官を派して混雜を制し居たるに列車は人熊しく午後九時十分轟々と到着すると相撲界の御大將常陸山はセルの單衣仙臺平の袴に「スヰスと云ふ扮装に前の濱に迎へられ二の素晴しき數り續いて梅が谷五の單衣を着流し靜は鼠地のインバ子人波を分けながらて現れたが貫いた所を殘して遙々來、國見山は五つ紋チャラつかせ左手手掛けを無造作にが彼の體格なれば、ず臨時荷物の出待ち構へたるキ社員は一行の後隨ひたり南大門よ見物人黒山の如く運轉を中止する程る歡迎に會ひたるれも喜悦の情眉字られし旅舍に投ず

程度まで成り居たるは事實なる(未だ犯し居らずとか)姦通

兩者の孰れが隱せざりしかの大罪は未だ犯し居らずとか併し本社の記事にして數日遲かりしならば或は如何なりしや知る可らざりしもの、如し兩者たるもの以後は今日に顧みて決して不謹愼の態度行爲なき樣注意すべき事を勸告す

有夫の婦人と通ずる教員の記事に就て

▽不謹愼の行動を戒む

去る二十一日發行の本紙に有婦の教員が有夫の婦人と通ずる由を報道したる記事は其後取込み所に依れば

井上(松本當衛)兩人の關係

係は初め甚だしき(?)より誘ひたるや遂に共に散歩する程の

女振り

井波潜影師夫人 井波ちゑ子

井波潜彰師は眞宗大谷派韓國開敎使で南山本願寺別院に法幢を樹てゝ乘庶を引攝敎化して御座る、産地は福岡縣浮羽郡竹野村で由緒正しき僧侶である、特に由緒正しと斷る所以のものは數多き僧侶中には所謂デモ坊主なるものがある、身躰が弱いから農民には成れず財産がないから學問することも商賣することも出來ない事その事坊主にデモ成らうと云ふ此の種の坊主でないと云ふことを證據立てる爲めである、ちゑ子さんは明治八年二月の御出生であるゝ、立派な体格で御容貌は失禮ながら美人とは云へぬが十人並以上ではある、七難隱すと云ふ色白の品良き夫人だ御實家は久留米の矢張りお寺さんであるとか、お寺に生れてお寺に嫁いだ夫人は嘸かし抹香臭いと思ふのは大間違ひ、御氣質は陽氣で而して若勢性で悠長で而して性急な所があると云ふ妙不可思議、不審しとも不審しき極である、併し夫れが程善く調和して行く所が更に妙である、公明潔白人に對して間隔てがない、秘密と云ふことがない、一面識の者も十年親交ある人も同一である、嗜味は多方面で花、茶、音樂も深くは無いが悉く其の心得はある、お經？お經は門前の小僧でさへ暗誦する、況んや門内に生れた姫御前たるに於てをや、聞く丈け野暮だ、五人のお子持で當地に居らるゝのは九歲の三女さき子、六歲の長男慧沖君、四歲の四女みち子の三人である、交際も多方面で氣受けも頗る好い。

天理敎の英國傳道

▽日本宗敎外國傳道の嚆矢

たこれは敎祖おみき婆さんが「世界一列皆助け」と謠つた主意に由つて世界を一列助けたまへの下に飮からさする爲大阪南區順慶町一丁目天理敎船場敎會の敎師赤木德之助、高見正造、正信藤次郎の三氏が取り敢ず英京ロンドンに出向ふ事となり二十五日神戶出帆の安藝丸で出發するさうだ、是は英國の電氣工學士チヨ、ローツ氏が一昨年一月大阪電球會社の顧問技手として着阪以來天理敎を研究せんとの好奇心を起し右の船場敎會に赴きて同敎の主意、方針、敎典其他を聞き深く歸依の心を起し昨年歸國後屢次布敎を促し來りたれば同敎會にては內務省の同意を求めたる上前記三氏を派遣することになつたのだといふ三氏は言葉も通せぬ事情の異つて居る文明國へ助け一條の傳道に赴くのであるから勿論獻身的に赴くので敎會からも本部からも應分の傳道費を支出し三氏の家族を引き受け養育することを誓つたさうだ日本宗敎が歐羅巴に布敎さるゝのは天理王命の傳道を以て嚆矢とすといふエライぞ〳〵

助けたまへ天理王命も段々發展して今度傳道師を英國に派遣することになつ

●亂暴な飮兵衛二人

▽一圓の酒肴に醉ふて亂暴

仁川花町二丁目質屋小坂卯太郎同紐峴驛前城戶某の兩名は去る廿一日午後十時頃寺町二丁目の料理店二見樓に登り一圓を投げ出して之れだけ飮ませて吳れよと吝な遊びを爲したるが一杯の酒が二杯三杯と重なるに伴れ醉ひは廻り剩さへ何時の間にか約束の一圓を超過せしかば酒肴を出す事を中止したるに大に憤り出し其處らに有合せたる品物を手當り次第に投げ遂には立上りて硝子をメチャ〳〵に破る餘りの亂暴さに亭主及び女房のするは物陰より現はれ出で詫入りたるが下から出れば附け上るとはよくも言つたり其場に有りし根捧を取る手早くするの右腕を碎けよとばかりに毆打し五日間の疾病休業を要する打撲傷を與へしかば下男の吉は此樣を見兼ねて飛び出しよくも已アの處の女將を撲つたなと云ひつゝムンズとばかりに小坂に組み附き上となり下となり格鬪に時を移せしが足許狂ひて板場に轉げ落ち倘はも掴合ひは益々激甚を加ゆるのみなりしが此物音に近所の人々は山の如く同樓前に集り敗ける勝てよの掛聲の中より顏利き現はれやつと其場は納り內濟にて事を濟まさんと仲裁するものもありしかど遂ひに破れ廿二日右スヱは前記二名を對手取り損害要償並びに毆打疾傷の告訴を仁川署に提起したり

●何方の不都合か

大和町二丁目二百四十六番戶內部官吏津久井喜四郎氏は此頃內部へ招聘せられしが五月

●イヤに吝な情婦

仁川に於て目下興行中の曲馬師松村貞雄事垣崎定吉(三五)が藝風に惚れ遙々釜山より其尻を追ひて龍山まで來りしを其筋の手にて押へられし釜山富平町木都あさ(十八)は龍山署の保護を受けて追ひ歸されしが同人は情夫なる定吉に首つたけ惚れ込み衣類八點を預けありとの事に一昨日前記あさの親族なる大道七五三藏と云ふが衣類引取りの爲め態々仁川に來着したるも言を左右に托して渡さゞるにぞ其旨仁川署に訴出で警官は右定吉を說諭の上該衣類を引渡さしめしと

●橫着者說諭さる

大分縣平民大分じう(三八)は曙町百十五番戶飮食店宮永四十一年十二月より四十二年九月迄本町八丁目に於て、うどん屋を營み居る內初音町一丁目受負業根岸七五郞方雇人北村喜太郞及又三郞に酒及うどん代喜太郞は十七圓五十錢又三郞は七圓八十七錢を借したるも女なりと侮り支拂はざるのみならず催促せば暴言吐くより銅峴分署へ說諭願を出したるに付喜太郞又三郞を呼出し說諭せしに惡るかつたとて引取り來る三十日支拂ふ可き旨請書を出し放還せられたり

西方大關 國見山悅吉

二十日出發の際東京本鄕區眞砂町十五番地西山運漕店に當地南大門外協同組着にて引越荷物梱包十三個(代四百圓除)の運漕を依賴し前金三十四圓六十錢の運賃を前拂せしに定期の日に到着せざるより先方西山に照會せしに六月二十日迄船の都合に因り遲延せし旨回答ありしに六月二十日に到着せず今日迄未着に付双方取調方其筋に願出せし由にて目下取調中なりと因に引越し荷物到着遲延するは本人の迷惑は甚だ敷き事なる可し運漕業者の注意肝要なり

東方大關 駒ケ嶽國力

●白晝の韓人追剝

二十三日午後靑坡通り監獄署新築地埋立場の街路に於て一韓人泥醉して橫臥し居るを周衣を剝ぎ取り笠宕巾及金七圓六十錢を窃取し逃げ去らんとするを附近に居りし日本人夫飛び來り引き捕へ其筋に引渡したるが其の犯人は北部鎭長坊二洞洞朴奉鉉(四二)にて此の奴は龍山若松町大工橋下齊方より單靴一足を窃取し來り尙は餘罪ある見込にて取調中なりと

●牛切と韓人車夫

二十三日午後六時二十分頃大和町二丁目派出所前街路に於て永樂町二丁目植島牛肉店雇人淸水富五郞(二〇)と南部美洞三統三戶人力車夫白公先(三三)と何か賃金の事より喧嘩を初め互に拳を以て擲り合ひ居たるが派出所に連行說諭放還

●戲談にも程が有

仁川驛貨物係藤富龜次郞(三三)は一昨日午前十一時同驛構內に於て韓人夫張一奉(四〇)と戲談の交換より本喧嘩となり掴合ひの最中警官來り双方を說諭したりと

◎時事俳評

千春

△明石司令官の敏腕　若竹やすでに蟄湧く戰ぎ振り

△ルーズベルト凱戰　炎天や駿馬かけ來る砂烟り

△救世軍の富籤興行　短夜やまださめ切らず宵の酒

△兩國に風と大の川　縱橫に若鮎のぼる早瀨かな

△御苑內の臺覽相撲　富士見へていよ〳〵高し五月晴

●大相撲場內の麥酒

同場內は日本麥酒會社の獨占に歸したるとは既報の如くなるが同會社が塲合にて需めに應ずる札幌、アサヒ、ビース等時節柄悉く冷却したるものを供給すと

●嘉一は何處に居

原籍山口縣阿武郡荻町中野嘉一(二六)は三十八年頃渡韓せし以來鄕里に何等音信せず鄕里の親族の者も心配致し居り殊に實父此頃病氣に罹り居るとて當地北米倉町居住の井町虎槌に依賴し來りしさて同人より南部署へ搜查願提出したりと云ふ

目と耳

▲壽座　同座二十五日(四日目)の演藝番組は左の如くなりと云ふ　魚賣人(金平)指の寫し繪並に獅子曲(金遊齋常盤津宗淸並に浮世ぶし(小つま)女郞の文音曲(市馬)轉失氣(金勝)香曲手踊り(金登喜)義士傳之內堀部安兵衛之傳(花圓遊)曲藝火焔ばち(龜次郞)尺八之曲越後獅子並義太夫合奏(花堂)れもご還ひ(金馬)大切喜劇〆込み(座員總出)

▲浪花館　一週年自祝の爲め木戶錢無料にて去る十九日より若遊三一座にて開演中の同館二十五日の代り番組左の如し　伊勢道中(若三郞)厄拂(若明)代參(圓三)開化之動物園(笑三)親子茶や(文爾)寄劇(座員總出)花見之仇討(若遊三)大切所作事

美術半襟帶締其他組紐類各種
京城明治町一丁目　電話二千四百〇九番
ゑり徳商店

廣告

御披露
此度のすまい物を撰み板場は八百善、瀬戸子飛をみおはた斯道の達人物をためし宗静な景色をと併せ食せ物のかたくすみ飛は火来を致件仕出し亦は弁当は壹迄ユふ物話承仕り弁
御料理
京城旭町二丁目
公園下
都亭庵
鳥新
電話一三九一番

新荷着
英國製皇室御料 コンマンダー
英國製 スヰトホーム
京城本町二丁目
織自 居轉 商車 店部
電話八百四十番(電略オ)

資本金壹百萬圓
大阪 火災海上運送保険株式會社
(本社大阪東區備後町)
京城代理店
官製煙草元賣捌店
京城本町四丁目
三共商會
電話四一三番
保險料は低廉にして極めて簡便に御契約可仕候

無比勉強
かや わた
吳服 太物 洋反 蒲團 調進
京城明治町一丁目
唐川商店
電話二六一番
關戸蚊帳株式會社韓國代理店
新案特許製綿韓國一手特約店

六月廿二日より向七日間
第三回 新荷着賣出し
賣出中は正札より五步引
外に關戸蚊帳は特に正札より一割引
京城本町一丁目(憲兵隊前)
桑原商店　電話四八三番
京城本町五丁目(壽座入口角)
桑原出張店

朝鮮唯一の土産夏季滋養●夏痩の人は必ず飲め
賜東宮殿下御買上之榮
清國領事館御買上品
韓國京城博覧會褒狀受領
滋養強壯 人參飴
世界第一等の滋養品
牛乳鷄卯に優る數倍
元祖發賣元
京城本町二丁目
井口順生堂藥房
本品は滋養劑として東洋第一と稱せらるゝ朝鮮人參を以て精製したる物にて朝鮮唯一の御土產品なり
本品は殊に夏季の强壯劑として頗る適切有効なるを以て何卒一度御試用の上御好評を仰ぐ
◎特約販賣店は京城、釜山、仁川、平壤、開城、龍山、鎭南浦、元山及各地有名藥店雜貨店に於てす最寄にて御買求を乞ふ
京城本町二丁目(電話一九九番)
井口大藥房
京城大販賣店
龜屋(本支店)
青木堂

一鴨綠江松材現木
長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候
京城旭町三丁目
建築業 柴田芝六
電話五百六十八番

謹
表具部開業
額屏風天井壁張及表裝一切並書畫の需用に應す
旭町三丁目三日月湯隣
柴田表具部
主任 網島久雄
眞光小太郎
電話(五六八)

京城曙町(電話二八七番)
統監府御用
宮內府御用
軸物表裝
額
金
屛

易斷觀相教授
京城本町五丁目
三一館
館主 土御門派大陰陽師
(…)

御用達
增築御披露
京城南大門通三丁目光宣門側(電話一三八二番)
御待合 紅葉
四方粹客樣方の御引立に預り手狹を感じ往々折角の御運びを御斷り申候等不本意千萬に有之候に付今般改築間數も增加殊に浴室の設備も致何時にても用意罷在申候間不相變御狂駕の程奉希上候

明治廿六年七月創立
資本金一千萬圓
東京火災運送海上保險株式會社
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番
代理店 本町四 山口吳服店 電話九番

紙と印刷
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

和洋農具並ニ養蠶具器械一式
純良農產種子養成販賣○果樹、山林、庭園用苗木、觀賞用植物苗木類、肥料
京城東大門外龍島
興國農園種苗養成所
諸官衙御用達
京城本町一丁目六十五番戶
三輪商會
電話三八六番

高等旅館
平壤大和町
浪花館
電話一三四番

特約販賣自製
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
ビール 新茶 大賣出し

本院は毎日(日曜及祭日を除く外)午前九時より午後四時迄
但專門醫に診療を依賴す
龍山居留民團囑托
松村和田雨先生
龍山榮町文平山麓
龍山醫院
(電話六〇三番)
の診療時間は午前九時より正午迄とす

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金參百萬圓
積立及繰越金九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社十八銀行京城支店
(電話四二〇)
本店長崎市築町
支店出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
本日
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日步壹錢二厘)
長崎貯蓄銀行代理店(十八銀行京城支店)

乳
牛
牧場

●●●滋養と牛乳●●●
純良 牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹六九〇番
馬車配達
●●●衛生と消毒●●●

★株式會社百三十銀行韓國總支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戶、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、橫濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山
南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

移轉御披露
御待合 住の家
京城旭町一丁目小森材木店裏
電話六七六番
是迄の住の家は夏の待合としてチト窮屈致分けて日々に入目も繁き場所と相成候まゝ今度旭町一丁目小森材木店裏に新築の上移轉致し凡て夏向きに粹様方の離座敷亦は夕晴の四疊半と心をこめし設備ぶり一度御來遊の上相變らずの御ヒイキを猶亦人目を忍ぶ君様方の裏道傳へは元住の家本門通り右の小路を臺見賀店前に出て右に御曲りの上裏門よりと
あるじ白す

諸官衙御用
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
委託販賣
東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
(…)
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話二〇三番)
出張所 京城本町一丁目 東京新富町一九六 (…)

京城明治町二丁目(佛國教會前)
辯護士 特許辯理士
岩田仙宗
電話三五四番

貨物運送取扱
稅關貨物取扱
危險擔保附運送品代金付貨物運送
貨物引換證發行
內國通運株式會社
京城南大門驛前
京城支店 電話七〇入番 電話一七九番
仁川驛前 仁川出張所 電話五一一番
草梁驛前 釜山出張所 釜山驛前電話六一六番 草梁驛前電話五三七番
龍山驛構內 龍山出張所 電話二〇六番

印章彫刻 ゴム印彫刻
京城本町四丁目
赤帽子號印舖
諸官衙御用達
奧野岩太郎
電話九三番

廣告
民事、刑事、其他總ての訴訟事件の鑑定
貸金證劵、賣掛代金、約束手形、爲替手形、其他總ての債權は事件の大小に不拘現金買入
負債、貸金、銀行、會社の整理引受及相談等は懇切依賴に應
貸金請求、家賃取立、小作取立、其他總ての民事、刑事訴事件
右は迅速確實に依賴者の滿足を旨とし事務を取扱ふを以て事件の大小に不拘御來談を乞ふ
京城旭町二丁目百四十五番戶
堤重四郎法律事務所
鐘路典獄後洞廿一統六戶
同 鍾路出張所